

時事新報

豫算委員会の議決

衆議院の豫算委員に於ては過日來種々討論の末愈々一昨廿七日の總會にて全く調査の終りを告げ直に議決に差出したるよし而して其豫算原案より削減したる額は外務、内務、大藏、陸軍、海軍、司法、文部、農商務、逓信諸省の所管にて非常臨時費合せ九千四百三十四萬圓餘ありと云ふ昨日の報を觀よ八千萬圓の豫算總額中凡そ一千萬圓の削減は實に意外千萬の決議なりと云はざるを得ず我輩は茲に種々の論述を止め試みに議決諸氏の案計上に就て其議決の當否を質さん諸氏は概して日本社會に中等以上の生活を爲すものならんされば其豫算は少なくとも八千圓内外に下らざるべしと云ふを以て其八千圓の豫算は如何なる用途に費すものなりと云ふに一家の成立には自から年來の事情困難なき能はずして紙類又は出入の人も多く吉凶の取捨難くもしくは神佛徳圃の寄進など目に見えぬ失費も少からざる其上に猶ほ臨時不應の費用もかかる可らず例へば家内の別八人として其八人が各々必要する費用は一年二三百圓にても濟む可しが故に八人の家内に八千圓の費用は不要なるが如くされども實際に於て前述の事情困難は一家に於る可らざるの煩累にして一期に於て絶つ可きものならざれば一家の歳計にしては八千圓の總計より遙に一千圓の削減は之を諸氏が自身の案計に於て事實に難きを見る可し轉じて政府の歳計を見るに從來種々の情實の爲めに冗費の少なからざるは勿論にして之を減するは我輩に於ても異論なき所されども二十餘年來政府に事情困難の少からざるは諸氏の一家に煩累の多きに異ならずして之を絶つの際も亦諸氏の案計を絶つの際に異ならずして其由來の久しきものあれば之を醫するにも亦慢性的の手段を用ひ年月を期して其効を求むるも對症の處方ある可きに今や然らずして急性の激刺を用ひ遂に効を見んとするは益々その病を激せしむるものにして治方の最も拙きものと云はざるを得ず

員附氏が委員会の議決に對して十分の注意あらんことを警告するものあり

○故法貴氏の後任 兵庫縣第三選挙區多紀水上兩郡は衆議院議員定員一人の處當の法貴氏故人となりしより其補欠選挙を行はざるべからざる事なるが多紀郡徳山地方にては今度七月の選挙に失敗したる水上郡の郡長田嶋吉氏適任ならん杯と既に噂し居る向も有りといふ

瀨田川浚渫の件

江州琵琶湖より流出する所の瀨田川は近年土砂沈澱して次第に川床を高め出水の度とに汎濫の害を蒙るより滋賀縣の人民は其浚渫を望み縣會に於て既に該土木費六萬九千六百餘圓の支出を可決したれども此事に就いては京都、大坂の二府より故障れば若し上流を浚渫して水吐を好くするときは自ら水量を増し之れが爲めに下流の迷濶とあるべしとて其浚渫工事に對して異議を容れたるより滋賀縣民が單獨に自家の希望を遂ぐるも能はずして今や殆んど一縣二府の交渉事件となり滋賀縣知事は先日來滯京して其筋に請求する所ありたるよし尤も政府は之れに向て如何なる處置を爲すや未だ知る可からざれども聞く所に據れば内務省より技師を派遣して實地の規模を觀察せしむるものとされれば孰れ其上にて何とぞ決定するものとあるべし而して滋賀縣民の言ふ所に據れば近年著しく川床の高くなりし證據は浸水の時に於て之を觀るべし即ち以前は雨天等にて出水し水嵩既に極度に達したる後漸く其水の減せんとするに當りては毎日平均一寸以上の減水を見れども近頃は三分乃至五分の上に出でず現に量水標の示めす所を見るに大津、堅田、長命寺長濱、今津の五箇所に於て一昨廿一年より今年に至る迄を比較するに漸々減水の度に遲緩を來し此有様を以て進むときは早晚必ず汎濫の害を蒙るべし去る明治三年より今廿三年に至る迄の永害損失高を統計するときは無慮一千萬圓以上の巨額に達せり此事を回想するおどに轉た前途の危險あるを思ふがゆへ一日も早く浚渫の功を奏して縣民の安全を計りたしと云ふに在り而して京都、大坂の人民は利害全く之れに反し滋賀縣民の幸福は京坂二府の不幸とあり雙方共に兩立せざるものあるが如し故に當局者の苦心も亦一と方ならず左れば雙方の利益を全ふせんとするには滋賀縣の方を浚渫すると同時に京坂二府に屬する川筋をも浚渫せば共に永害を蒙るが如き憂あるべしと云へども京坂の府民は快よく其費用を支出するや否やを知らざるが故終に或は國庫金を支出するの止むを得ざるに至るやも測られずと云へり

清國直隸張家口貿易の景況

張家口は直隸宣化府に屬する長城の門口にて支那貨物を蒙古並に露領西伯利亞に運送し内地より貨物を支那地方に運び來る陸地貿易の要口されば會て同地には監督官を置き其稅を調べ露國と陸路通商の條約ありしより全體の景況日々盛にして今日清國陸路貿易の最も盛なる地となりしが故に我國人も之に注目せざる可からず我九州地方に産する茶葉の天津に輸出する者は悉く此口を經て蒙古露國に向ふ者あれば其露國の如何を觀察するは今日の要務なり又た露茶の支那地方に産するものは總て同地方に向ふと謂ふも不可なきものされば茶葉を賣むもの及び天津向きの貨物を取扱ふ人は宜しく蒙古露國に至て同

口の商情を熟知して日常の商賈を勉むるを得ず然れども同口は他の海港と異なり天津を距るも殆んど五六百清里の内地に在りて露商を除けば他の外國商は未だ直接に此地の貿易を試みたるものなき程されども現に清國より輸出品の重なるものは茶、鐵器及び織物の三種ありとす兼て同口には大なる清商の茶問屋五六軒ありて年々其取扱ふ茶の高は凡そ三萬箱以上にも及び其中露茶は露古商人の需用するものがあるが其輸出の高は割合に少く白毫茶(紅茶)の一種の輸出に比すれば僅かに十分の二位ありと云へり此種茶には其種類三あり上等は大塊にして二七と稱へ即ち二十七塊を以て一箱と爲し一塊の價大抵天津銀一吊八十文に賣割をとり居れり又其重さを量るに三斤二兩あり是れは相應に買割のものに見え支那人も旅行用と之を携ふるものありと云ふ中等は三六と稱へ三十六塊を以て一箱となす一塊の重さは一斤にて其價は通例天津銀の五百四十文位なり下等は六七と稱へ一箱に六十七塊を入れ一塊の重さは大概一斤半もあり其價は通例四百八十文前後あり又白毫茶も其種類四五種に別れ最上ある分は一箱天津銀二吊四百文中等同一吊四百文下等一吊二百文位あり其最下等あるものは恰克圖地方にては哈喇、回城、喉啞、噶喇等の毛織物を織るの染料に用ふる由にて輸出高は頗る多きものあり右等茶商の外に元寶山と云へる所に茶を取扱ふ露商二三軒ありて専ら露領西伯利亞に輸する白毫茶と露古人が用ふる磚茶とを販賣し其取引は頗る盛大なるものにて右二種の茶を合せ一箇年凡そ四十萬箱をも販賣するよし此露商が同口に開店せしは今より凡そ二十七年以前にて其始めは營業も思はしからざりしが次第に發展し目下は紳商等も其勢を制するも能はざるのみか年中其取引を占す茶の高は此露商一軒の半ばにも及ばざる位なれば北京政府も頗る同口貿易の規模に顧慮する所あるものなり如し鐵器を取扱ふ商家は同口に凡そ十數軒もあり重に蒙古地方に用ふる兵器、日用の器具類を製造す其中輸出の多きものは五箇、鐵鍋等の如き日用品なり織物を取扱ふ商家は凡そ三十軒もあり何れも屈指の商家なり輸出品は綢緞、綿布の類を同地方并に蒙古に販賣するの外に一種の垢付たる古衣を紅黃藍黑等の色合に染直し蒙古人の需用に供し居れり同口の輸入品は輸出品と引替へ處に上等の物にて其重なるものは哈喇、回城、喉啞、噶喇等の毛織物の外、土織及び哈喇羊の毛并に野驢の皮あり毛織物は恰克圖より同口に送り更に之を直隸通州に出し通州より之を支那各地に分輸せり食糧は蒙古の京棚、黑石驢及び哈喇の地に産し其種類は二種ありて一塊形にして之を販賣し稱し一は粉未にて之を未鹽と稱す孰も地中に産するを以て之を土鹽と稱せり其價は同口にて販賣は一斤天津銀四十文、未鹽は一斤同三十二文にて賣買す此等の鹽は産地より同口の東北八十五里ある石塘兒と云へる所まで牛車にて運付し同地より大車に積替へて同口に至る此大車の積量は凡そ三百斤より四百斤に至り同口の關門にて一車に付銀二匁の稅金を取立て居れり此の土鹽は海鹽よりも其品質不良なるものにて直に直隸の長城外並に山西省地方に販運するものありと土鹽は酸化曹昆の類にて天然に産する鹽より大蔵地方より同口に輸入し支那本邦各地に於て其需用最も廣きものにて之を精製して瓶形に造り染料或は顔料を製するに用ふるよし又衣服の洗濯に最も宜しく何れも石鹼に代用す同口には此土鹽を取扱ふ商家十軒もあり其取引は甚だ大なるものにて一軒にて一箇年に買入るも高は牛車の四千輛にも及び一斤

の價大約天津銀二百四り五百斤の間なれば今高を概計せば牛車四車其價額は天津銀の三百一に官許の票子を以て同口のみに十餘軒の恰克圖及び伊寧等の地に各地に輸せり其皮は從來市中大買賣物進呈の張札に式を觀るる事とされは以て東京諸名士を招聘を催はしたり板垣、星、等ありしが都合有て大右委員會の旨則は地租輕名士の委員を定め國會に士の間に口論を生じ果

○是迄常總會議とてもしも今は有名無實と口未知男等その他諸氏市下水門町に設立せ郵氏は海軍編制に轉り當地教育に別して期近きに拘はらず別に

○汽車に觸れて即死 橋本車が東海道御殿場橋本が汽機車に觸れて即死

○東京瓦斯會社故障の 瓦斯大漏れを脱けたる

○代售人高木太助氏を以て

○谷口工學博士をして取

○和南會社を會社と

○橋本車を取扱ふ事に

○電燈検査法を

○電燈検査法を

○電燈検査法を

○電燈検査法を

○電燈検査法を

○電燈検査法を

○電燈検査法を

○電燈検査法を

○電燈検査法を

○電燈検査法を

○電燈検査法を

○電燈検査法を

○電燈検査法を

○電燈検査法を

○電燈検査法を

○電燈検査法を

○電燈検査法を

○電燈検査法を

○電燈検査法を

○電燈検査法を

○電燈検査法を

○電燈検査法を

○電燈検査法を

○電燈検査法を

○電燈検査法を

○電燈検査法を

○電燈検査法を

○電燈検査法を

○電燈検査法を

○電燈検査法を

○電燈検査法を

○電燈検査法を

○電燈検査法を

○電燈検査法を

○電燈検査法を

○電燈検査法を

○電燈検査法を

○電燈検査法を

○電燈検査法を

○電燈検査法を

○電燈検査法を

○電燈検査法を

○電燈検査法を

○電燈検査法を

○電燈検査法を

○電燈検査法を

○電燈検査法を

○電燈検査法を

○電燈検査法を

○電燈検査法を

○電燈検査法を

○電燈検査法を

○電燈検査法を

○電燈検査法を

○電燈検査法を

○電燈検査法を

○電燈検査法を

○電燈検査法を

○電燈検査法を

○電燈検査法を

○電燈検査法を

○電燈検査法を

○電燈検査法を

○電燈検査法を

○電燈検査法を

○電燈検査法を

○電燈検査法を

○電燈検査法を

○電燈検査法を

○電燈検査法を

○電燈検査法を

○電燈検査法を

○電燈検査法を

○電燈検査法を

○電燈検査法を

○電燈検査法を

○電燈検査法を

○電燈検査法を

○電燈検査法を

○電燈検査法を

○電燈検査法を

○電燈検査法を

○電燈検査法を

○電燈検査法を

○電燈検査法を

○電燈検査法を

○電燈検査法を

○電燈検査法を

○電燈検査法を

○電燈検査法を

○電燈検査法を

○電燈検査法を

○電燈検査法を

○電燈検査法を

○電燈検査法を

○電燈検査法を

○電燈検査法を

○電燈検査法を

○電燈検査法を

○電燈検査法を

○電燈検査法を

○電燈検査法を

○電燈検査法を

○電燈検査法を

○電燈検査法を

○電燈検査法を

○電燈検査法を

○電燈検査法を

○電燈検査法を

○電燈検査法を

○電燈検査法を

○電燈検査法を

○電燈検査法を

○電燈検査法を

○電燈検査法を

○電燈検査法を

○電燈検査法を

○電燈検査法を

○電燈検査法を

○電燈検査法を

○電燈検査法を

○電燈検査法を

○電燈検査法を

○電燈検査法を

○電燈検査法を

○電燈検査法を

○電燈検査法を

○電燈検査法を

○電燈検査法を

○電燈検査法を

○電燈検査法を

○電燈検査法を

○電燈検査法を

○電燈検査法を

○電燈検査法を

○電燈検査法を

○電燈検査法を

○電燈検査法を

○電燈検査法を

○電燈検査法を

○電燈検査法を

○電燈検査法を

○電燈検査法を

○電燈検査法を

○電燈検査法を

○電燈検査法を

○電燈検査法を

○電燈検査法を

○電燈検査法を

○電燈検査法を

○電燈検査法を

○電燈検査法を

○電燈検査法を

○電燈検査法を

○電燈検査法を

○電燈検査法を

○電燈検査法を

○電燈検査法を

○電燈検査法を

○電燈検査法を

○電燈検査法を

○電燈検査法を

○電燈検査法を

○電燈検査法を

○電燈検査法を

○電燈検査法を

○電燈検査法を

○電燈検査法を

○電燈検査法を

○電燈検査法を

○電燈検査法を

○電燈検査法を

○電燈検査法を

○電燈検査法を

○電燈検査法を

○電燈検査法を

○電燈検査法を

○電燈検査法を

○電燈検査法を

○電燈検査法を

○電燈検査法を

○電燈検査法を

○電燈検査法を

○電燈検査法を

○電燈検査法を

○電燈検査法を

○電燈検査法を

○電燈検査法を

○電燈検査法を

○電燈検査法を

○電燈検査法を

○電燈検査法を

○電燈検査法を

○電燈検査法を

○電燈検査法を

○電燈検査法を

○電燈検査法を

○電燈検査法を

○電燈検査法を

○電燈検査法を

○電燈検査法を

○電燈検査法を

○電燈検査法を

○電燈検査法を

○電燈検査法を

○電燈検査法を

○電燈検査法を

○電燈検査法を